

地元の漁業を深掘り 鵒川高1年生 港を見学

【むかわ】鵒川高の1年生46人が鵒川漁港を見学に訪れ、漁業の仕事を学んだ。町内の産業や歴史を学ぶ「むかわ学」の授業の一環。同町で漁業が盛んなことを



鵒川漁協の小定雅之専務理事（右）からホタテについて説明を受ける鵒川高生

生徒に知ってもらおうと、今年から漁業を学習テーマに加え、9日に漁港に足を運んだ。

生徒たちは、漁港内の市場で、いけすに入れられたホタテやマツカワ、フクラギに直接触れながら、鵒川漁協の小定雅之専務理事らから、魚介類の流通の仕組みや町内の漁業が抱える課題などの説明を受けた。

山村歩さん(16)は「ホタ

テの貝殻を見て、年齢が分かることが興味深かった。漁業の仕事をもっと知りたくなった」と話した。

生徒たちは、今回の学習を踏まえ、町内の漁業が発展するためのアイデアなどを検討し、来年3月ごろに校内で発表する。

（小宮実秋）